# スポ推よこすか

令和7年9月24日 発行

発行責任者 横須賀市スポーツ推進委員協議会会長

林但 YOKOSUKA CITY SINCE 1907

横須賀が好割



67 協議会

# 令和7年度関東スポーツ推進委員研究大会(山梨大会)

令和7年6月27日(金)~28日(土)に山梨県 小瀬スポーツ公園 武道館アリーナにて関東 1 都8県スポーツ推進委員が一堂に集まり、大会テーマ「スポーツと文化の融合」~地域を繋ぎ 地域を生かし 地域を元気に~のもとに開催されました。



開式のことば、君が代斉唱が行われた後に、実技披露として北杜市スポーツ推進委員協議会40名による「甲斐の国~スポーツと文化の融合~スコップ(サフロ)三味線実技」が披露されました。

この催しでは終始甲冑姿の武田信玄に扮した山梨県スポーツ推進委員協議会 飯田忠子会長が陣頭指揮を執る形で進められました。2台の大ビジョンには飯田会長のこれまでの活動経歴・受賞のあり様等がきらびやかに鮮やかに紹介され放映されました。この参加者を圧倒する熱意溢れるの演出には、会場全体が強烈なインパクトを受けました。また飯田会長の「スポーツ推進委員は芸人たれ」との信念のお言葉が印象的で



その後開会式・表彰式が行われ飯田会長から 85 名全員に表彰状を授与されました。功労者表彰を受け た神奈川県の受賞者は23名で横三ブロックから横須 賀市の金森由香里さんが受賞おめでとうございます。



次に基調講演が2講演行われました。基調講演1では「天災を天恵に変えた長所、発展の教育」と題し、学校法人日本航空学園 梅澤重雄 理事長が能登半島 地震での体験・教訓のお話がありました。基調講演2では「健やかな子どもを育む」と題し山梨大学 中村和彦 学長からありました。印象的なお言葉は①スポーツは気ばらしが起源、面白く・心地よく・自ら行うことが肝心②現代は大人・社会が子供が運動できない環境を作っているのが問題、スポーツをしなくなる要因、③体力;自分の体をコントロールできること、コミュニケーション能力;相手を慈しむ・思いやること 次にパネルディスカッションが「スポーツは地域

次にパネルディスカッションが「スポーツは地域を繋ぎ 地域を生かし 地域を元気に」と題し全国スポーツ推進委員連合リーダー養成講習会参加者のパネリスト 10 名からの体験談が紹介されました。

その後アトラクションとして①日本航空高等学校 (吹奏楽団・ウィングダンスカンパニー)②自転車ト ライアル③日本航空高等学校(太鼓隊)が実演され、 盛りだくさんの1日目が終了しました。

翌日の28日(土)には、6つの分科会が各会場で行われました。



記事・写真 広報部 部長 新堀 邦明(富士見)

### 新任研修会及び新スポーツ紹介体験

6月14日(土)諏訪小学校のランチルームで令和7年度新任研修会が開催されました。



- ① 最初は、横須賀市文化スポーツ観光課スポーツ振興課長より非常勤職員としてのスポーツ推進委員の説明がありました。横須賀市は、2018年から2025年のスポーツ推進計画を策定しスポーツによる地域の活性化を図っていることの説明がありました。スポーツ推進委員の大きな役割として、スポーツを指導するだけでなく、スポーツの素晴らしさを伝えるコーディネーターの役割も担う指導員の育成を図っていきたいとの説明がありました。過去、横須賀市で小学生の体力測定結果が全国平均より劣っていた時期がありましたが、現在はソフトボール投げを除いては全国平均を上回っているようです。新体力測定の補助員として各地の小学校に応援を要請しているとの説明がありました。
- ② 「スポーツ推進委員と役割について」横須賀市スポーツ推進委員協議会の林会長から説明がありました。横須賀市、65歳以上の比率は32.85%と高くなっており、モルック、ピックルボールなど負荷の少ない新スポーツを普及させて体力維持を図っていく必要があると感じました。

また、グループディスカッションを通じて他地域 の皆様と交流できたことも良かったです。

#### ③ 新スポーツ紹介体験

体育館にてピックルボールのルール説明、競技を 実践しました。私は、普段からソフトボールをやって いるので動けましたが、普段から運動をしていない方 には難しいのではないかと感じました。

しかし、用具も安価に揃えやすく、練習すれば楽 しくゲームができるように思います。

今回、モルックはやりませんでしたが、モルック も経験してみたいです。

記事 藤沢 学(野比東)写真 広報部 部長 新堀 邦明(富士見)

## ニュースポーツ研修会

8月24日(日)横須賀市総合体育会館メインアリーナにおいて、当協議会研修部が企画したニュースポーツ研修会が開催されました。



林会長、高橋スポーツ課長のご挨拶に続き、研修 部統括の池田副会長より、ピックルボールは、各学区 地域への普及を図り今年度の協議会事業として交流 大会の開催実現に向けての更なる普及の促進を考え ての開催である旨の説明がありました。



参加者全体を2グループに分けて、まず4面のコートを設営しました。次に各グループの中で2人のペアーを組み、コート毎に8人に分かれて、経験者が中心になってルール他を確認しました。なお参加者の半数は未経験者でした。各ペアーでサービス、ストローク、ボレーを練習をして、ピックルボール(専用ボール)とパドル(ラケット)の感覚を確認しました。

次に5点先取で総当たりでの試合を行いました。

プレイヤー 以外は審 判・ラインズ マン・得点係 をしました。



記事・写真 広報部 部長 新堀 邦明(富士見)

# 児童ミニバスケットボール大会 7月13日(日)総合体育会館(メインアリーナ・サブアリーナ)



## 第65回成人バレーボール大会 8月31日(日)総合体育会館(メインアリーナ・サスアリーナ)

